



親も子ども、自分を好きになろう！

本校の教育方針に、「有用感を高める（自分を信じ、自他を励ます）」ことを挙げています。「自己肯定感を高める」と言い換えても構いません。「自己肯定感」のベースにあるのは、「承認」ではないかと思うのです。子どもは親の持ち物ではなく、人格を持った一人の人間ですから、叱られるより認められることを望みます。また、そうすることで伸びていくものです。親自身も同じです。一生懸命頑張っているのに認められる機会が少ないと自己肯定感の低下につながります。そういう私も、「ご飯を作ったり、洗濯をしたり、掃除をしたりしているうちに、あっという間に夕飯の支度。そういう繰り返しの中で、感謝や労いの言葉がなく、そうすることが当たり前と思われていると虚しくなる。何のために私はいるの？って」と家で言われることがあります。

自己肯定感を、「長所も短所もある自分をありのままに認めて“これでいい”と思える気持ち」、あるいは、「欠点も含めて自分のことを好きと思える心」と解釈する見方がありますが、わかりやすい気がします。

そして、親の自己肯定感が低いと、どうしても子ども自身も自信が持てなくなる傾向があるようです。ですから、親子(家族)で互いの長所に目を向ける練習をしてもいいかもしれません。最初はわざとらしくてもいいから相手をほめるのです。相手の美点を見てそれを伝えることで、相手の心の中にある「宝物」を掘り起こすことになるのではないのでしょうか。

親子の会話では、「だって」「どうせ」「でも」などという後ろ向きな言葉を避け、『さしすせそにありがとう』を大切にしたいと思います。「さ」は「さすが!」、「し」は「幸せ!」、「す」は「素晴らしい!」、「せ」は「世界一!」、「そ」は「そうだね!」、「に」は「にっこり」、そして「ありがとう」という肯定・承認のあらわれであり、うれしいひと言です。最初はなかなか使えなくても、意識して口に出しているうちに気持ちが前向きになり、自分の周りの人も自然と幸せな気持ちになっていくのではないのでしょうか。

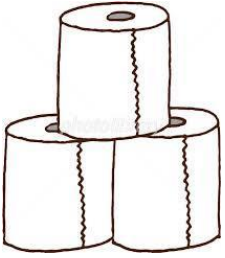
いよいよ明日から長い夏休みがスタートします。親子で何かに取り組んで、子どもの大きな成長を期待したいですね。決して難しいことをするものではありません。例えば、日常的に「今日あったよかったことを互いにひとつ話す」とか「同じ本を読んで、どこがおもしろかったか話し合う」など、よいことに目を向ける練習で構いません。また、「子どものやりたいことを一つ決めさせて、それに向けて計画を立てさせてみる」といったことも考えられます。

夏休みに入る前のワクワク感が、夏休み終了時には寂寥感だけではなく、満足感や成就感、自己肯定感になっていることを楽しみにしています。 《参考・引用》(株)子どもの笑顔 岩堀美雪氏のインタビュー

今年も原木山妙行寺で会いましょう

市川ユネスコ協会主催の『響け、ピース 平和の鐘を鳴らそう』が、市内8か所で行われます。8月15日(木)12時に、妙行寺鐘楼でも鐘をつきますので、11時半には到着しているようにしてください。終わった後は、飲み物や食べ物が振る舞われ、地域の方とふれあう機会にもなります。 ※近くなったので、再度お知らせしました





こんなことが起こっています

短くなった鉛筆にキャップをつけてノートを書いている児童を見かけることがあります。「最後まで大事に使う」ということがしみついているのだなあと感じます。逆に、校内でも学級でも持ち主不明の落し物が絶えません。

さて、7月16日には、以下の内容の校内放送を入れました。

全校の皆さんに、校長先生からのお願いがあります。「トイレトペーパー」についてです。先週金曜日は2個、今日はなんと4個も、丸のまんま便器の中に捨てられているのが見つかりました。(注)今回が初めてではなく、注意や指導、対応をしてくれてなお繰り返されていました

なぜそんなことをしてしまうのでしょうか？自分の家でも同じことをするのでしょうか？誰も見ていないから？楽しいから？どうせ学校のものだから？そんな考えがあるのかもしれませんが。

どんな理由にしても、自分の気持ちを満足させるために物を無駄にしてよいということはありません。悪いとわかっていてやっているという点では、許せない行為です。

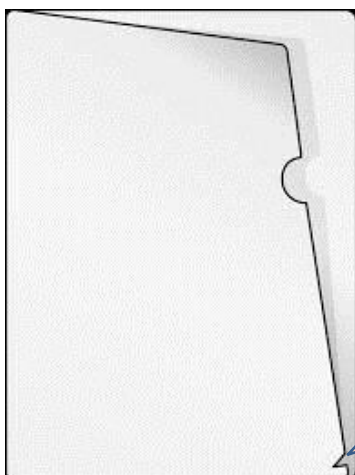
家のトイレトペーパーは、1個25円から30円くらいです。学校のは家庭用の倍の長さがあるため、値段も50円から60円となります。今日は4個無駄になりましたから200円以上の無駄遣いです。

こういう行為によって損をしているのは皆さんのおうちの人です。学校にある机やイス、チョークやほうき、トイレトペーパーなどは、全部皆さんの家の人が働いて、「税金」というものを市川市や千葉県、国にたくさん払っている中から買っているのです。働いているおうちの人の頑張りを、いたずらをして遠くから笑っているような行為であるとも言えます。

ある国の学校では、トイレが詰まってしまうことを防ぐために、トイレトペーパーをトイレに置かないようにしたそうです。必要な時に先生に言うともらえるとは言いますが、さすがにそういうことはできません。でも、そういうことも考えたくなるほど困っています。残りも少なくなってしまうました。もしかすると、本当に使いたい時に紙がないということが起こるかもしれません。

そこをお願いします。いたずらやストレス発散という理由でやっている人は、もうやめてください。そして、いたずら行為を見た人は担任の先生でも校長先生でも、すぐに知らせてください。

トイレがきれい、使い方が美しい学校は素敵な人の集まりだと思います。今の信篤小は、ちょっと残念です。だから協力してください。美しく、かしこく、たくましい信篤小学校児童の皆さんへのお願いです。



雑学クイズ

電車の中で見た問題です。

「左の絵にあるクリアファイルの右下（この吹き出しの先っぽ）には、三角形の切れ目があります。これは何のためでしょうか？」



《答》この切れ目があることにより、破れにくくなる。開いた時に閉じたときに、その力をかかると、それを分散させている。